

美楽舎

B i G a K u S Y a
News letter

No. 371

会報 第 371 号 (令和 4 年 9 月発行)

HP: <http://bigakusya.com>
Mail: info@bigakusya.com

第 395 回 (8 月) 例会

自習

投稿はありませんでした。

某日月誌

ぼうじつげっし



○8月某日:「子ども時代の遊びとおもちゃ」新宿区立新宿歴博へ、記憶の底にある宝物との副題あり、ボランティアの方々の思い出(回想)をまとめた冊子を貰った。昭和25年頃のおもちゃから始まる、入口の写真パネル(チンドン屋、紙芝居、メンコ・ホッピング・フラフープ遊びほか)と後半の展示物は撮影OKであった。自分も子供時代を回想しながら見る、駄菓子屋のチェーンリングはこんなに小さかったのかなとか。土人形などの郷土玩具は興味深い、最後のコーナーは明治もの(印刷物多し)でしめてあった。常設展も見っていたら1時間半以上かかってしまった。

○某日:「李ウファン」(8月10日~11月7日)新美へ、子供向けのパンフ(鑑賞ガイド)を貰った。図録は買わずPCを11枚とピンバッジ(千円したが宝石みたいで)全4種などを買い約7千円を散財した。前半の石(石、岩石の種類名を記載して欲しかった)やガラスやステンレスなどを組み合わせた立体再生作品は、まさに「もの派」の真骨頂であり、

初めて見た、敷き詰めた石も含め準備、片付けが大変だろうな。後半は絵画作品の〈点より〉〈線より〉からの変遷(岩絵具からアクリル絵具)、最後の1点は壁に描いてあったが、展覧会終了後はどうするのだろうか上塗りして消すのだろうか。版画作品がないのが残念、こちらの仕事も見ないと全容を見たことにはならない。地下でチラシを貰い、戻ったら展示時の状況がTV上映されており、割れたガラスの作り方が興味を引いた(どのようにしたのか疑問だったので、謎が解けた)。野外作品の2点を撮った。

○9月某日:「とある美術館の夏休み」千葉市美へ、現代美術家の新作と館蔵の古美術作品などとのコラボ(インスタレーション)で、一部を除いて撮影OK。ミヤケマイのインスタと小川信治の新作が見れた、最後の文化屋雑貨店の磁器(飯茶碗、徳利などの雑器)は販売していた、買うかどうか迷ったけど、今回は何も買わなかった。

○某日:「Life with ネコ展」港区立郷歴へ、江戸の浮世絵、